

平成 19 年 11 月 21 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

三菱 UFJ リースに対する議決権比率の引き上げについて

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{くろやなぎ のぶお} 畔柳 信雄、以下 MUFG）は、本日、緊密者数社（以下 緊密者）が保有する、MUFG の持分法適用関連会社である三菱 UFJ リース株式会社（代表取締役社長 ^{おぼた なおたか} 小幡 尚孝、以下 MUL）の株式を買い取るにより、MUFG 連結ベースでの MUL に対する議決権比率を引き上げる方針を決議しました。また、MUFG グループ各社が保有する MUL 株式の買い取りも今後検討してまいります。

なお、当該買い取りは、金融商品取引法（昭和 23 年 4 月 13 日法律第 25 号）第 27 条の 2 以下に定める公開買付けの手続きによることを要しないため、緊密者からそれぞれ相対取引により買い取る予定です。

今後、緊密者に対し具体的な買い取り交渉を実施する予定ですが、買い取り実施後の MUFG 単独での MUL に対する議決権比率は 0%から 7%前後への増加を見込んでおります。また、MUFG 連結ベースでの MUL に対する議決権比率は約 18.6%から 26%前後への増加を見込んでおります。

MUL は本年 4 月にダイヤモンドリース株式会社と UFJ セントラルリース株式会社が合併し、主要金融業務分野であるリース事業分野において、MUFG グループの中核を担う企業として誕生しましたが、MUFG としては、銀行、信託、証券、クレジットカード事業と並び、主要事業領域としてのリース事業の位置づけをより明確にし、グループとしての戦略的一体性を高めるべく、MUL に対し直接出資するとともに、MUFG 連結ベースでの議決権比率引き上げも実施するものです。

以 上